

◎市長（角光雄君） ただいまの小川議員の御質問にお答えをいたします。

まず最初に、中心市街地活性化基本計画の策定の考え方、方向性についての御質問であります。

この件につきましては、一昨年12月議会においても同様の質問があったわけですが、この際には都市計画マスタープランにあわせて策定作業を進めたいということをお答えいたしました。

この間、小川議員の御指摘のように都市計画マスタープランと地域別構想の素案もでき上がり、今後はこの中心市街地活性化基本計画の策定に向けて本格的に着手すべき時期に来ているというふうには思いますが、この中心市街地活性化基本計画というのは、1つの自治体で一とこだけをとらえておるのです。ですから、ここが今問題で、これからいろいろと議論をしなければいけないと思いますけれども、これを中心市街地の関係だけでなしに本市には商店街というのは美川にもございますし、今ほどおっしゃったように鶴来にもあるわけです。それぞれの商店街のいわゆる活性というものを考えるときに、この中心市街地活性化基本計画と似通った対応ができるのが地域商店街活性化法であるというふうに聞いておりますので、この辺をどのように取り扱いをするか、これからやはりもう少し検討してみたいというふうに思います。

他に、松任地区の商店街を中心市街地というふうにして名づけていきますと、美川・鶴来の商店街は抜けるわけがありますから。そういう面で、やはりお互いに合併してそれぞれの地域に商店街がありますので、単に松任だけの中心市街地ということできなしに、やはり地域商店街の活性化法というものを適用したほうがいいのではないかとというのが私のこの答弁の調整の中で申し上げたわけございまして、今もそのように考えております。

地域商店街活性化法では、商店街の事業活動促進という観点から、中心市街地活性化法とほぼ同様の国の支援策が盛り込まれており、空き店舗の活用や地域のイベント等の支援など、ハード・ソフトにまたがる補助金や融資制度、税制優遇措置もあり、認定申請も中心市街地活性化法と比べれば、比較的簡便となっておりますというの聞いておりました、その点はもう少し勉強して、やはりこのマスタープランにあわせながら、それぞれのいわゆる商店街活性について一生懸命に取り組んでいかねばならぬと、こんなふうに思います。

こういうのも含めて、やはり商工会議所や美川・鶴来の商工会、それから各地区の商店街、地域住民の皆さんとも相談をしながら、もう少し結論を出すことに時間をかけたいというふうに思っておるところでございます。

次に、コンパクトシティの構築についてであります。平成19年度より都市計画マスタープランの策定を進めており、その策定委員会の中で議論をいたしました。策定委員会において、委員の方々から福祉・自然環境・農地の保全・中心市街地の空き家の対策・社会資本コストなどの観点から、都市の魅力が凝縮された効率的かつ機能的でまとまりの

あるまちづくりが重要であるとの御意見をいただき、基本方針にコンパクトな都市構想を目指すことを掲げ、その方針のもと全体構想及び地域別構想の議論を重ね、その案が策定された次第であります。

今後、白山市中心市街地活性化基本計画を策定する場合には、都市計画マスタープランの内容も受けて、より具体的な計画を進めてまいりたいというふうに考えておるところでありまして、先ほど申しましたこの点がちょっとひっかかっておりまして、これも調整しながら、もう少し私も勉強しながら調整をしたいというふうに思っております。

当然、商店街の活性化については、鋭意努力していきたいというふうに思っております。

次に、文化行政の移管についての質問であります。文化の振興につきましては、これまで教育委員会を中心に、各施策を通じて、市民の文化意識の高揚に努めてまいりました。

また、感性豊かな情操教育を推進するための重要施策と位置づけており、特に乳幼児、あるいは小学生のころから文化意識を醸成していくことが大切であると認識をいたしております。

平成19年9月議会の小川議員の御質問で本市のシンボルである白山を世界遺産登録のみならず、白山を中心とした観光資源の発掘、地域の活性化を図るものにとらえ、文化振興と観光振興をあわせ持つ組織体制がとれないか検討してまいりたいとお答えいたしました。が、世界遺産登録は大幅な見直しが必要とされましたこと、また、来年白山山頂禅定道史跡調査の取りまとめや、白峰地区の重要伝統的建造物群保存地区の指定を控えていることなどをかんがみますと、今のところ当面は教育委員会の職務とすることが望ましいというふうに考えておるところであります。

小川議員も世界の各国の観光地、あるいは文化地域に行かれたと思いますけれども、私もやはり観光の基本は文化だと思います。文化のないところには観光地はありません。そういう意味で、やはり文化を振興し、発展させ、あるいは伝統的な文化を継承する、そのことがひいて観光地につながるというふうに思っております。

それから、まちなか定住促進策については産業部長より答弁をさせます。